

基礎生物委員会・統合生物学委員会・農学委員会合同
植物科学分科会（第 25 期・第 2 回）議事要旨（公開用）

1. 日時 令和 4 年 1 月 25 日（火）10:00～12:05
2. オンライン会議
3. 参加者 三村委員（分科会委員長）、山崎委員（副委員長）、遠藤委員、大谷委員、川井委員、川合委員、河野委員、河内委員、坂本委員、杉本委員、高野委員、田畑委員、塚谷委員、中西委員、西谷委員、西村委員、久堀委員、福田委員、村上委員、村中委員、佐藤委員（幹事）、森田委員（幹事・書記）
4. 欠席 上田委員、加藤委員、榊原委員、佐々木委員、東山委員、丸山委員
5. 議題

(1) 植物科学分科会のこれまでの活動状況

第 24 期で行った基礎植物科学分野の学生等動向調査の結果の取りまとめ、公開について、学術会議の在り方の再検討や、コロナ禍で学生を取り巻く状況が大きく変化したことから、公開方法について再検討をすることとした。

(2) 植物科学分科会の今後の活動方針

- 学生・PD アンケート結果の取り扱い法
調査対象がマイクロ系に偏りがあること、コロナ禍前の調査であること等を明示した上で、アンケート結果は学会の Web ページ等で公開することを目指す。
- カーボンニュートラルへの対応方針
カーボンニュートラル連絡会議における植物科学分科会の貢献方法について意見交換を行った。植物科学の立場からのカーボンニュートラルに関するシンポジウム開催について検討することとした。
- その他、分科会で行う必要がありそうな活動
 - ・村中委員より、食料科学委員会・農学委員会合同の農芸化学分科会で 2022 年度に実施を計画している「SDGs 達成に向けた農芸化学の挑戦」に関する植物科学分野の公開シンポジウムについて説明があり、植物科学分科会との共催について議論した。
 - ・2023 年 3 月に日本で総会が予定されている国際生物化学連合（IUBS）について、分科会として協力していくことが確認された。
 - ・「持続可能な発展のための国際基礎科学年 2022（IYBSSD2022）」連絡会議に植物科学分科会が参加し、活動に協力していくことが確認された。
 - ・博士進学後の多様なキャリアパスについて、ケーススタディとして事例を集めることを検討する。

(3) 学術会議第 25 期の現状と今後の活動

学術会議の在り方について再検討され、また批判もある中で、今後の植物科学分科会の活動について、意見が交わされた。

以上